

～平成26年度一関市水防訓練～

7月6日(日)、一関市水防訓練が磐井川東大橋上流にある一関水辺プラザにて実施されました。訓練は昭和22年、23年のカスリン・アイオン台風にて大きな被害を受けたことを教訓に、市の水防体制充実強化や地元住民の防災意識の高揚を図るために毎年実施しています。

当日は一関市消防団や各関係機関、市内自主防災組織の方々ほか、地元高校生や専門学校生など約540名が参加し、水害による被害拡大を防止するための対処技術の確認などを行いました。



訓練には消防団など約540名が参加



水防隊員による「月の輪工法」訓練



自主防災組織や地元高校生、専門学校生が参加しての「積み土のう工法」訓練



国土交通省では排水ポンプ車、災害対策本部車、照明車を展示

「大林排水施設躯体工事」遮水矢板打ち込み中

一関遊水地の大林水門は、第1遊水地内の水を北上川へ排水する施設です。

洪水時には施設に「浮力」が発生するため、鋼矢板(幅90cm、841枚)で施設の下部を囲み、地下水を遮断することにより浮力を低減する対策を講じています。矢板打ち込み作業は8月まで続く見込みです。



施工中の鋼矢板と、施工済みの場所打ち杭(494本)



矢板を地中深く打ち込むため、ヤットコ(青い棒)を使用



90kwパイロハンマによる打ち込み

◆◆編集後記◆◆7月に入り、東北も夏祭りシーズンを迎えますが、夏季休暇の取得予定は如何でしょうか？
今年は災害が無く、梅雨も明けて欲しいものですね。(ひこ)